

本照寺だより

日蓮宗 常栄山

日蓮聖人第738遠忌に万灯を奉納頂きました



①立正佼成会厚木教会さまの奉納。②地元・中分さまの奉納。③露天も8店舗出店し大勢の子供たちが。④菊村恵美子さんが奉納者に対して抹茶のサービスをして。⑤今年には13名のお稚児さんが参列。⑥夕焼けを背に日蓮聖人を写真・村井一隆さま



第81号
厚木市下古沢133
TEL・046-247-1156
FAX・046-247-1156
振替・0230-7-35749
(加入者名・本照寺)
発行所 本照寺・須藤教裕
携帯090-9151-6438

●なぜやるの
本照寺には、広い部屋と広大な敷地があります。土日の法事以外での活用機会が少ないのが現状です。せっかくのスペースを活用して、地域の方に楽しんでいただける機会を増やしたいという考えから、外部の方が主催の本体験会を実施します。今回、プログラミングを選定したのは、プログラミングをやってみることで、個人的にとっても大きな学びと

年末年始 ロボットプログラミング体験会のご案内

●何をやるの
親子共同作業でプログラミングをして、ロボットを動かします。

副住職のコーナー



感じているからです。私は社会人の2,3社目でプログラミングを経験しましたが、物事を筋道立てて緻密にシナリオを考えていく力のトレーニングに、うつつけどと思います。また、社会の中でITの存在は益々高まっています。プログラミングとはどのような開発されているかを体験して知っておくのは、今後のキャリアを考える上で、将来的に仕事をしていく上でも、非常に有益なことだと思います。

●講師は誰
ロボットプログラミング体験会の開催で、全国を飛び回っている方です。今まで、体験会には4千人弱の方が参加しました。

●誰が参加できるの
小学生と、その保護者のペアが参加対象です。来年度、小学生になる子も参加可能とのこと。詳細は同封のチラシをご覧ください。皆様のお申し込みをお待ちしております。

さまざまな催しをご用意。除夜の鐘へお越しください。



昨年の写真。鐘楼堂は緑、イチョウは白にそれぞれライトアップ (別紙参照)

■このたびはお届けいたしました「外」は玄関出入り口の「外」にお貼りください。「三寶大荒神札」さんぼうだいこうじんふだは本照寺本堂内・お賽銭箱右側に奉安してありますので、ご希望の方は本堂にてご自由にお持ちください。また「日蓮宗暦」は適宜ご利用ください。●古「お焚きあげ箱」へどうぞ。12月1日から本照寺へ設置いたします。本照寺以外のお札類でも結構です(無料)。燃えない物はご遠慮ください。

御守護札

父の背
千葉県南房総市 保田洋子 72

父は高校生の私を自転車に乗せ、電車に間に合うように懸命にペダルを踏んだ。若かった頼もしい父の背を見つめた。愚痴も不満も言わなかった。父私を信頼していたんだ。前かがみでひたすら走る。父の背で分かった。私を受け入れる父の愛。それを胸当てとして私は生きる (産経新聞から)

朝の詩

母のおむすび
阿部典子 72

母のおむすびは平たいまる三角のおむすびは三角はまるがむすべなくて母は三角にならないどうしてかしらねえ不思議よねえっておむすびを作りながらふっと笑った少し泣いた

お母さんのおにぎりが一番
千葉県成田市 上田真弓 56

(先日)「朝の詩」の「母のおむすび」は胸にグツときた。作者が握るおむすびは三角だが、お母さんのおむすびは平たい丸であることがペーソスを交えて描かれていた。実は私の母のおむすびも、タイヤのように平たい丸形だった。小学校時代、私

■今後、通夜や葬儀の場合、左記のメールアドレスまで故人の写真を送信してください。ますよう、お願いいたします。 honshou49@i.softbank.jp



お線香にもまごころを込めて

ご埋葬
すべておまかせください
埋葬料 10,000円
字彫代 35,000円
※送料・葬石メジ自前
本照寺様出入り石材店
株式会社イシックス
■平塚店 平塚市四之宮2-24-31
■小田原店 小田原市駒形1-25-21-201
0120-011140
isix.jp

「誰でも間違いを犯すんです。だから鉛筆の先に、消しゴムがついているんですよ」
サミュエル・ゴールドウイン (アメリカ・映画プロデューサー)



「私の知人が国内外の医師271人に『あなたやあなたの家族ががんになった場合、抗がん剤を使用しますか?』と尋ねたところ、なんと270人が『絶対に拒否する』と答えたそうです。(中略)「99%』というのは、驚異的な数字です」とは、「医師は自分や家族ががんになったとき、どんな治療をするのか、川嶋 朗医師・アスコム」の「まえがき」からの抜粋である。これには緒論反論あるようだが、私

家なら最期まで好きなことをして過ごせる

薬を使う 使わない

■今回は、元病院勤務医だった上松さんのお話です。医師が末期がんになり、患者になった時、どのような治療を希望し、何を選択するのでしょうか。ある日のこと、上松さんの奥さんが相談外来に来て言いました。

「主人の治療についてご相談したいので、一度往診に来ていただけませんか?」

そこで私が往診に行くのと、ベッドで横になっていた上松さんが、険しい表情でこんな話をしてくれました。

「小笠原先生、僕は病院勤務をしていて、がん患者に対して手術後に抗がん剤を使ったりもいかなかった。苦しんだ末に亡くなる人ばかりで……昔のこととはいえ、そんなふう

が思うに「がんになった場合」ではなく、「末期がんになった場合」との問いに対する返答ではないかと思う。初期がんには効果も期待出来ると思うが、末期がんでも抗がん剤を用い、病院のベッドで苦痛の中、最期を迎える話は、私も立场上、耳にする。時折、有名人ががんの手術を受けて「がん」と闘っています。そのコメントを発表するが、「闘う」とは、抗がん剤を用いてのことが想像される。結果、自宅ではなく、病院のベッドという、限られた狭い空間で最期を迎えることになると思われれるのだ。以下「なんとめでたいご臨終」から一例を紹介したい。

うに患者さんを苦しませていた僕が、自分ががんになった時、抗がん剤治療をせず、家で緩和ケアを受けたいなんて許されたいです。亡くなった患者さんたちに申し訳がたしませんよ。だから僕は辛くても、死ぬまで抗がん剤を使つて闘病しなければいけないでしょう……」

在宅ホスピス緩和ケアで繁華街にも

お酒が飲みたい

■「上松先生、若い頃の趣味はなんでしたか?」

「そりゃ、鮎釣りだよ。長良川の上流へ行つて友釣りす

いと思いましたが。なぜなら私も病院勤務の時、「抗がん剤は効果があつたらしくても、死ぬまで抗がん剤を使つて闘病しなければいけないでしょう……」

「昔はそうでしたよね。それが患者さんにとっていちばん正しい、最善の治療だと、医師は思っていたんですよ。僕

「ピチピチの鮎が10匹は釣れますか?」

「何を言っているんだ。バケツ一杯だ。酒の肴だと思んなが喜ぶんだ」

「日本酒ですか、ビールですか?」

「焼酎だよ。焼酎がいちばん好きなんだ」

「そうなんですか。それなら飲んだらいいがですか。死んだら飲めませんかよ」

そんな会話が繰り返されていたある日のことでした。上松さんがこんなことを私に尋ねたのです。「在宅ホスピス緩和ケアなら焼酎が飲めるのか……。飲んででもいいのかな?」

え、みてくださいます。抗がん剤治療をしていただいた医師が、自分ががんになった時に、抗がん剤を使わずに緩和ケアを選択したら、今、抗がん剤で苦しんでいる患者さんに、勇気を与えることになりませんか。過去の患者さんを苦しませたかもしれないけれど、これからの患者さんの希望となつて、救うことができると思えますよ」

しかし、上松さんはうなずくだけです。その様子を見た私は、ただ心を開くために言葉をお交わす訪問診療を続けることにしました……」

【参考として、以下は「がん研究センター」の言葉である。中村祐輔医師の言葉である。「『治療の可能性はない。これは延命のための治療だ』と宣言した上で、抗がん剤治療を押しつけ、副作用で苦しむ、不健康で、非文化的な生活を患者さんに強いることが、憲法で保障されている人権尊重に沿ったものとは思えない」。令和元年10月14日付「産経新聞」】

「大丈夫です。飲めますよ」

「焼酎が飲みたい。小笠原先生、一緒に飲んでくれないか」

「毎日、720ミリも飲んでるんだ」

「大好きな焼酎を飲んで痛みも消えるなんて、最高ですね」

そんなやり取りの後、上松さんへのモルヒネの投与は中止しました。

大好きな焼酎が飲めるといふ満たされた心は、目には見

え、みてくださいます。抗がん剤治療をしていただいた医師が、自分ががんになった時に、抗がん剤を使わずに緩和ケアを選択したら、今、抗がん剤で苦しんでいる患者さんに、勇気を与えることになりませんか。過去の患者さんを苦しませたかもしれないけれど、これからの患者さんの希望となつて、救うことができると思えますよ」

「厚木医師会」では、在宅医療相談室「ルリアン」を開設。厚木市厚木町6の1「厚木医療サポーターセンター」内。電話046/240/0393

編集後記

◆旧聞だが、国連気候行動サミットがニューヨークで開催され、小泉進次郎環境相がステートキを食べたことが取り沙汰された。しかも、本人は知らなかった牛のゲップはメタンガスで二酸化炭素の23倍もの悪影響があることを。私は30年前に、知っていた。それ故? レストラン・ガストへ行つてもチキンを食し、牛肉は年数回ほど。25年前に「コンビニでレジ袋はもうわらないよ」と、子供達に言い、割り箸の紙袋は持ち帰り、食品ロス問題では常にタッパー持参と本紙78号に書いた。だが、未だ全く興味のない人もいて、缶コーヒ一本をレジ袋に入れる。今、原子力発電所での電力不足分を火力発電で補っているが、これこそ温暖化であろう。今夏もエアコン未使用の私は、原発反対反対ではないがの資格あり?との完全自己満足である。

■上松さんが過去を乗り越えて抗がん剤治療をやめる決心をし、在宅ホスピス緩和ケアを受け入れた瞬間でした。すると奥さんが嬉しそうに言います。

「小笠原先生、主人は若い頃、ほとんど家にいなかったんですよ」

「そうなんですか。お仕事ですか、それとも遊びでしようか?」

「仕事一本に決まってるだろう」と上松さん。家の中の雰囲気が一気に明るくなったようでした。

それからは、訪問診療に行くたびに、上松さんと焼酎で乾杯です。

「病院じゃ酒は飲めないからな」

「そうですよ。僕だって、患者さんと一緒にお酒を飲めるなんて、家だからですよ」

「痛いつきに焼酎をグイッと飲むと、治るんだよね」

「えっ? モルヒネじゃなくても焼酎で、ですか?」

私は驚いてしまいました。

「ルリアン」

「厚木医師会」では、在宅医療相談室「ルリアン」を開設。厚木市厚木町6の1「厚木医療サポーターセンター」内。電話046/240/0393

り上げました。それは、今も抗がん剤治療で苦しんでいる患者さんへ、上松医師が遺してくれた希望なのだと思います。

「厚木医師会」では、在宅医療相談室「ルリアン」を開設。厚木市厚木町6の1「厚木医療サポーターセンター」内。電話046/240/0393

「厚木医師会」では、在宅医療相談室「ルリアン」を開設。厚木市厚木町6の1「厚木医療サポーターセンター」内。電話046/240/0393